

TOHATSU

PARTNER

2015年8月1日発行 / 夏号

VOL.96



Photo : 「大坂夏の陣」金箔御座船

CONTENTS

- | | | | |
|---------------------------|------|--------------------------|-----|
| ●平成27年度 消防機器等関係者表彰式 | P2 | ●広島ボートショー・マリングランフェスタ2015 | P5 |
| ●育英奨学金寄付に伴う感謝状授与式 | P2 | ●名古屋ボートショー2015 in とこなめ | P5 |
| ●功労者表彰で木村氏、中山氏がめでたく受賞 | P2 | ●日本グランプリパワーボートレース開催 | P6 |
| ●東北 トーハツポンプ会春季総会 | P3 | ●四国フローティングボートショウ2015 | P6 |
| ●トーハツポンプ中央会 春季総会 | P3 | ●さわらマリフェスタ | P7 |
| ●関西 トーハツポンプ会総会 | P3 | ●地域住民による可搬ポンプを用いた放水訓練 | P7 |
| ●中部 トーハツポンプ会総会 | P3 | ●トーハツポンプ中央会サービス研修会 | P7 |
| ●九州・山口 トーハツポンプ会総会 | P3 | ●朝日町消防団様 駒ヶ根工場をご見学 | P7 |
| ●「大坂夏の陣」に浮かぶ金箔御座船 | P4~5 | ●駒ヶ根操法大会 | P7 |
| ●関西ボートショー 2015 とりトルボート試乗会 | P4 | ●「インターシュッツ 2015」がドイツで開催 | 裏表紙 |
| ●2015九州ボートショー in 福岡 | P4 | ●ドラマ「HEAT」撮影協力 | 裏表紙 |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

平成27年度 消防機器等関係者表彰式

消防業界の発展に大きく寄与した方々を表彰する平成27年度消防機器等関係者表彰が、去る5月29日（金）、東京四谷のスクワール麹町にて開催されました。本表彰式にて、吉田商会社長の大瀧勝之氏の他にも大阪の特約販売店の木内ポンプ株式会社社長の木内利幸氏が消防機器等関係者表彰を受賞されました。

受賞式は、総務省消防庁をはじめ来賓として多数の消防関係者が出席され盛大に行われました。

まず一般社団法人全国消防機器協会会長の北爪氏から式辞があり、その後、会長から受賞者一人一人に表彰状が授与されました。

表彰式の後、懇親会では、本日の午前中、爆発的噴火をおこした鹿児島県口永良部（くちのえらぶ）島の新岳

の噴火、救助対応から戻られた消防庁坂本長官も出席されご祝辞と状況報告がありました。その後懇親会では、消防庁長官、検定協会理事長、安全センター理事長と共に将来の防災に関する意見交換もでき大変有意義な式でありました。

この度受賞された大瀧氏は、トーハツにおける可搬消防ポンプの販売拡販に大きく貢献されました。

現在は、千葉県の市原にある特約販売店吉田商会社長として地域の安全安心、社会への貢献を目標に日夜活躍中です。現在の消防、防災業界の変化に対応する商品を今後も紹介し人々の安全に貢献していきたいと話しておられました。この度の受賞、誠におめでとうございます。

（防災営業部）



育英奨学資金寄付に伴う 感謝状授与式

去る5月27日（水）にトーハツ株式会社本社にて、公益財団法人 消防育英会 常任参事 武井様が来社され、東日本大震災で消防活動中殉職されました消防職員、消防団の遺児への育英奨学資金寄付に伴う感謝状授与式が行われました。

今後ともトーハツ株式会社として出来る限りご支援したいと考えております。

（車両課／志津川）



日本消防ポンプ協会 平成27年度 功労者表彰

トーハツ株式会社の木村氏 中山氏がめでたく受賞

一般社団法人日本消防ポンプ協会の定期総会とそれに伴う平成27年度の功労者表彰が去る5月19日（火）に消防業界関係者多数出席のもと東京信濃町の明治記念館にて行われました。

この榮譽ある功労者表彰にトーハツ株式会社からは、技術部次長木村東吾氏、駒ヶ根工場製造課長中山基明氏の2名が受賞されました。木村東吾氏は受賞者の代表として謝辞をのべられました。この2名は、消防ポンプをはじめとする防災機器業界の発展に寄与された功労が認められての受賞です。今後も消防業界発展のために大いに尽力して頂きたいと思っております。

この度、受賞されました木村東吾氏、中山基明氏には心よりお祝い申し上げます。

（防災中部／高橋）

左から小山顧問、木村氏、金子会長、中山氏、工藤取締役、松原工場長



平成27年度 ポンプ会総会

東北 トーハツポンプ会

宮城県仙台市近郊の名取川上流にある奥州三名湯に数えられる秋保(あきう)温泉にて去る6月4日(木)、「平成27年度東北トーハツポンプ会春季総会」を開催致しました。第一部は定例総会で平間会長の挨拶後、各議案に対し無事にご承認を頂き、続く第二部はポンプ会で日向社長のご挨拶後、拡販コンクールの表彰を行い、各会員からは地域の近況報告をご発言頂き積極的な意見交換を行いました。第三部は懇親会と更に親睦を深めた次第です。会員の皆様大変お疲れ様でした。(東北/中島)



トーハツポンプ中央会

平成27年トーハツポンプ中央会春季総会が、去る5月19日(日)、成田市の「ホテル日航成田」にて開催されました。同会・逆井会長による開催挨拶の後、役員改選を実施、今期も同役員にて就任いたしました。

平成26年度事業報告、並びに平成27年度事業計画の取り決めを行い第1部が終了。

第2部では、逆井会長、並びに日向社長のご挨拶の後、青山防災営業部長から業界の近況が報告されました。水素ステーション向けの設備用ポンプについての説明などがあり、活発な意見交換が行われました。

翌日からは、ミャンマーへ研修旅行に向かい現地消防局長と面会し意見交換を行いました。会員の皆様、ご多忙の中ご出席いただき誠にありがとうございました。(防災中央/後藤)



関西 トーハツポンプ会

4月15日(水)～4月18日(土)の日程で、平成27年度の関西トーハツポンプ会総会と研修旅行を実施しました。今回はタイでの開催となり、遠方となりましたが総勢15名の参加となり、気候にも恵まれ、今まで以上に親交を深めることができました。

16日の総会では、心配していました長旅の疲れもなく、販売や修理についての意見交換が多く交わされ、各地域の販売店様の、日ごろの努力や日々感じていることを身をもって実感することができました。

総会のあとは、研修旅行で寺院やアユタヤ市内の視察を行い、移動中や視察の途中で多くの情報をお互いに交換でき、交流を深める貴重な時間となりました。

遠方での開催ということと、また気候の変化等による体調管理等も問題なく、全員が無事に帰国することができ、内容の詰まった充実の4日間となりました。

ご参加頂きましたことと、開催にご協力を頂き有難うございました。(防災関西/田村)



中部 トーハツポンプ会

去る、6月2日(火)に「平成27年度中部トーハツポンプ会総会」を名古屋市(百楽)にて開催いたしました。

第一部の定例総会では、荒木会長のご挨拶後、事務局より平成26年度事業報告並びに会計報告、平成27年度事業計画並びに予算案が承認され、終了しました。

引き続き行われた第二部のポンプ会では、荒木社長、日向社長のご挨拶後、会員の皆様から地域状況報告をいただき、業界の近況報告並びに販売関係の報告を青山部長より報告いたしました。報告に伴い活発な意見交換を行い、終了後は、同会場にて懇親会を開催し親睦を深めた次第です。

各会員の皆様におかれましては、大変お疲れ様でした。平成27年度も拡販にご尽力いただきたく宜しくお願い申し上げます。

(防災中部/高橋)



九州・山口 トーハツポンプ会

平成27年度九州・山口トーハツポンプ会総会が去る4月23日(木)・24日(金)の両日に、福岡市内にある「グランドハイアット福岡」で開催致しました。

総会は、同ポンプ会の澤田会長が挨拶を行い、業界再編により厳しい状況下ではあるが、過半数以上の受注に向けて皆様努力しましょうと抱負を述べられました。続いて、トーハツ日向代表取締役社長から日頃の拡販に感謝しますとご挨拶を頂きました。

表彰式では(株)サガハツ様がベスト10賞で第5位に入賞。その他の会員様も目標達成賞や優良賞を受賞。おめでとうございます。

そして、次回総会場所は海外視察になり行先はアンケートを取ることで可決されました。質疑応答では、新開発消防ポンプの開発を早急に実現という要望が多数ありました。懇親会では、和やかムードで歓談し親交を深めました。

翌日は、福岡カンツリーでゴルフを行い日頃の疲れをスポーツで癒しました。成績は群を抜いてスコアのよい濱崎社長が優勝です。皆様には遠路ご出席を賜り誠にありがとうございました。(防災九州/田中)



落城400年 「大坂夏の陣」に浮かぶ

大坂城は石山本願寺（浄土真宗）として天正8年（1580年）まで、顕如が支配しており、織田信長と長い抗争の末、引き渡す事になった。織田信長が本能寺の変により、明智光秀に謀反

を起こされ暗殺された事は歴史上有名である。

天正10年（1582年）天王山の戦いで明智光秀を破った豊臣秀吉は天下人となり、織田信長が果たせなかった石山本願寺跡地の大坂城を天正13年（1585年）築城し、二の丸・三の丸と壮大な名城として完成。慶長4年（1599年）太閤秀吉が亡くなられた跡世継ぎの豊臣秀頼が城主となる。

その後、徳川家康率いる東



軍と豊臣家の石田光成西軍が慶長5年（1600年）関ヶ原の戦いで合戦の末、徳川家康が勝利し、政権を掌握すると慶長19年（1614年）大坂冬の陣で豊臣支配下と交戦となり、外堀を埋め尽くし、内堀と本丸を残すだけとなった。

その翌4ヶ月後、慶長20年（1615年）大坂夏の陣で豊臣氏は滅亡。

荒廃した大坂城を2代目将軍徳川秀忠によって再建が進められ安泰となったが、太平洋戦争では陸軍占領下であったことで大阪空襲により多大な被害に見舞われ、その後復興により築城今日の大坂城となる。

今回の「大坂夏の陣」は2015年5月7日落城400年を迎えるイベントで、豊臣秀吉が絢爛豪華な栄華を誇った、豊臣期の大坂城と城下町を描いた貴重な屏風絵「豊臣期大坂屏風」（オーストラリア エッゲンベルク城所蔵）の中に見られる秀吉の「川御座船」と「鳳凰丸」をモデルに、大坂の陣から400年を経た平和な大阪で、秀吉が生きていたら、黄金の御座船にするだろう

2015 ボートショー開催



『関西ボートショー2015』と『春のリトルボート試乗会』

開花宣言から早くも満開になる中、各地のボートショーの先陣となる関西ボートショー2015が新西宮ヨットハーバーにて開催されました。

海上展示は新西宮ヨットハーバーらしくヨットや大型クルーザーが華々しく飾られ陸上では用品、航海計器や輸入車、好評のセミナーも開かれ、来場者も行く先々で楽しいイベントを肌で感じておられました。トーハツは当日、リトルボート試乗会が開催されていたこともありインフレーターボートと小型船外機を展示し、試乗会へのお誘いを実施。免許取得者へのダイレクトメール効果から小型ボートに興味を持たれる方の来場も多く、その足でリトルボートの試乗会に向かわれる熱心な展開も多々ありました。

初日4月の3日（金）は午後から雨になりましたが、回復した翌日には多くの来場者と取材もあり3日間を通じ4,468人の入場者数を記録。また当社、金子会長もボートショー会場からリトルボート田原社長のもとを訪れ、試乗会の盛況ぶりに激励と御礼の言葉を掛けていただきました。

関西ボートショーとリトルボート試乗会にご協力を頂いた販売店、協賛いただいた各社の皆様、有難うございました。（マリン／関西）



2015九州ボートショー in 福岡

4月18日（土）、19日（日）の北は玄界灘、南は博多湾、九州本土と志賀島を繋ぐ海の中道にある福岡マリーナ特設会場にて、今年で17回目を向かえる九州ボートショーin福岡が開催されました。九州で一番早くて大きなイベントとあり、28社、6団体、1組合が出展。各社ニューモデルの展示や用品の即売、マリンレジャーの情報発信や抽選会など、盛りだくさんの内容に大変賑わいを見せていました。

当社は広いフィッシングスペースと、マリントイレ取り付け可能な大型コンソールが魅力のTFW-25Rと、トレーラブル可能で価格もリーズナブルなTFW-17Rの2隻を出展。トーハツと言えばスタイリッシュなRシリーズとばかりに、途切れることなく来場者の注目を集めました。またカウルデザインが一新されたMFS30C、MFS20Dも展示しました。

19日（日）は天候が崩れたものの2日間で1,316名と昨年を上回る来場者数となり、トーハツの魅力を十分にアピールできたと実感の出来るボートショーとなりました。

（マリン九州／福松）



金箔御座船

という意を込めて、船全体に純金箔貼りを多用したものです。

現在の御座船は船外機で航行し、城の堀を遊覧できるようにしており、堀から見る大坂城の歴史を思い浮かべるのも楽しいかと存じ上げます。

当社のMFS6CSが近隣の販売店を通じて採用され、大変注目を呼んでおります。

1 乗船期間：平成27年4月25日（土）～9月30日（水）

※天候などの諸事情により運航しない日がございます。

2 開催時間：午前10時～午後4時

3 発着場所：大阪城公園 極楽橋そばの特設船着場

4 料 金：1,500円

ちなみに昨年末より行われました「冬の陣」には金の茶室もお披露目して大変にぎわいました。

(マリン関西/中野)



来場者数
ナンバーワン

海の駅発祥ご当地ボートショー

『第30回 広島ボートショー・マリングランフェスタ2015』

風光明媚な多島美の広島で4月11日（土）、12日（日）に30回目を迎える広島ボートショー・マリングランフェスタ2015が開催されました。

前日の低気圧による春の嵐も嘘のように静まりかえり、穏やかな海と真っ青に晴れ渡った空の中、開幕前から熱心なファンが押し寄せ、2日間で10,879人と言う方がお越しになりました。

釣り講座、陸上展示、ニューモデルが並ぶフロートティング、ミニボート試乗、大型クルーザーの体験乗船と目白押しイベントに栈橋も人の波が切れることなく、多数の予約待ち状況に各社のスタッフは慌ただしく駆け回っておりました。

トーハツはTF21STと好評の4ストロークMFS50Aを展示、お手頃、価格と使い勝手の良さに注目度も、近くの販売店で予定されている試乗会への参加を希望される方も多く、本シーズンの明るい兆しに笑顔が絶えませんでした。

昨年この場でお買い求めいただいたMDユーザーやミニボートファン、既に15年目とされるTF225のオーナーもお見えになり、海上のBFT150A搭載ブルーシャーク225の高いパフォーマンスを体感され4ストへの商談など、熱いトーハツファンに会場いただいた2日間にスタッフ一同、うれしい限りでした。

ブースの応援に駆け付けていただいた販売店の方々へ厚く御礼申し上げます。(マリン関西)



名古屋ボートショー2015 in とこなめ

4月17日（金）～19日（日）の3日間に渡り、愛知県常滑市のNTPマリナりんくうにおいて今年も名古屋ボートショーが開催されました。

当社は陸上ブースに船外機のMFS2BS及びMFS6CSSを展示、フロートティング会場にはTFW-25R + BFT90Aセット艇を用意し試乗を行いました。

開催初日となる金曜日は、生憎の空模様で平日ということもあり、例年並みの来場者数と試乗でしたが、土曜日は朝から晴れ渡り風もなく、絶好の試乗日和となりました。朝一番から試乗希望者が続々と訪れ、一時は順番待ちとなる程盛況であり、また、見た目以上にスピードが出ることや凌波性、安定性も想像以上の声を沢山聞くこととなりました。翌日曜日も生憎の天気となりましたが、日曜ということもあり沢山の来場者、近い将来での購入を検討頂ける方もおり、シーズンインに手応えを感じることが出来ました。また、TFW-21B2のMFS40Aセット艇を2艇成約頂き、中身の濃い充実したボートショーとなりました。

販売応援を頂いたマリンポート鳥新様を始め、ご来場頂きました販売店様にも厚く御礼申し上げます。(マリン関西/石丸)



2015 日本グランプリパワーボートレース開催

去る5月31日(日)に、2015日本グランプリパワーボートレースが愛知県蒲郡のラグーナマリナ沖で開催されました。

日本グランプリパワーボートレースは昨年まで木曾川で行われていましたが、護岸工事のため2015年は蒲郡での開催です。

パワーボートレースはトーハツ船外機 MFS50A を搭載した100 km/hオーバーで航走するF550クラスから、16000ccのエンジンを積み200km/hオーバーで航走するオフスーパークラスまでの8クラスが行われました。

F550クラスはトーハツ M40C (2ストキャブ) が主流エンジンでしたが、国内では2ストエンジンの入手が困難になったことから4スト50Ps及び2スト直噴50Psエンジンを搭載できるようにレギュレーションが改訂されています。4ストエンジンは質量が重い単なる単純な載せ替えですと船尾が沈み込み、スタート加速時及びスピードを落としてコーナーリング時の操作は難しくなります。

前日は練習日でしたが、風と波が不安定であり、F550クラスの練習開始直後に転覆してしまいました。初めての水面であり救助関係者も不慣れなことからその後の全クラスが練習中止となりました。「風と波に合わせた運転をすれば転覆することは無い。」と主張するベテラン選手もいましたが、安全第一が優先され、ぶっつけ本番状態でレースすることになりました。

レース当日は8時からのドライバーズミーティングの後、10時からF550クラス20周耐久レースから始まりました。スタート直後またもや前日と同じ光景(転覆)が見られ、観客は驚きましたが、ベテランの救助体制が即対応。選手はすぐに救助され無事でした。転覆艇を曳航した後、周回数を10周に短縮し再レースを行いました。選手は風

と波に合わせた運転をされたようで、11艇中10艇が最後まで航走しました。レース結果は、10年以上ブランクのある杉原選手が昨年発売のトーハツMFS50Aを搭載した艇でいきなり優勝。その他のトーハツエンジンも3位(MFS50A)、4位(M40C)、5位(MFS50A)を獲得し、トーハツエンジンが今後のF550クラスの主流となる兆しが見えました。

今年3月の横浜パシフィコで開催された国際ボートショーで展示されていたレース艇を覚えていますでしょうか? 展示されていたレース艇はすべて現役であり、40フィート超の艇は12月の芦ノ湖レースで、トーハツ船外機(MFS50A、MD50B2、M40C)を搭載するF550クラスは7月・8月・10月・12月のレースで観戦できます。観戦は無料で、日本パワーボート協会のホームページ<http://powerboat.jp/calender.htm>にレーススケジュール等が掲載されております。是非足を運んでいただき、パワーボートの迫力を感じてください。

国内でのパワーボートレースは50年以上の歴史があり、トーハツモーターボートクラブも最初から参戦し、何度も優勝しています。現在トーハツモーターボートクラブは参戦していませんがオフィシャル(大会関係者)として協力しています。

(技術部/菊池)



四国フローティングボートショー2015 海フェスティバル IN 新居浜

“この時期、瀬戸内海は霧が発生する時期でもあり、遠くで霧笛が鳴り響き、船の幻影を想像するダイアリーでもある。”

東京・大阪・名古屋・広島とボートショーの波が広がり、GW明けの5月16(土)17日(日)、四国にもボートショーの波が新居浜にたどり着きました。

やはり17日(日)の朝も霧が発生して試乗艇は出港することが出来ませんでした。会場は幻想的な雰囲気になり、まるで映画のワンシーンの様な景色にも感じられる程の中で今回も「四国フローティングボートショー2015海フェスティバル IN 新居浜」を華々しく開催することになりました。

今回も昨年と違った企画を設定、人気があるおなじみのB級グルメや海上保安庁巡視艇体験の他に、2014ゆるキャラ3位の愛媛ミキャンちゃんや、人気沸騰中の釣りガール「ふくだあかりさんトークショー」などに老若男女が集まり写真を撮ったり、ゲームをしたりで触れ合うことが出来て、笑顔が絶えない一日となりました。

当社も人気艇 TF-21HT (MFS50ATEL 搭載) を展示。価格・機能性を重視し、釣りが楽しめる船として展示参加できたので、来場者の目を奪う程の人気ぶりでした。

他に当社の景品で「船外機型の消しゴム」が、子供さんや若者に喜ばれており、手にしたチビっ子は、「使うのがもったいない」とか、「プロペラが無くなると形が変わって解からん」とか、他社にはない景品を提供でき、喜んで頂いてとても良かったと思います。

今回初めてアキレス(株)様のご協力により、ゴムボートを展示することが出来て集客が多く、来場者の数多くがインフレーターボ-

トには興味があり、高価な大型艇には手が届かない人でも釣りが楽しめるような環境を演出できて良かったと感じております。

毎年、四国や中国地方などから少数ですが来場して頂き、他の地区と比較できませんが、昨年来場していただき、主催者も来年はもっと多くの来場者を集められるように努力していきたいと願っております。又、来年はどんな企画が出来るか楽しみにしております。

次回はお時間が御座いましたら是非共、四国や近隣の皆様もお集まり下さい。楽しい企画をご用意してお待ちしております。今後共トーハツマリン製品を宜しく願い申し上げます。

(マリン関西/NAKANO)



さわらマリンフェスタ

去る4月19日(日)、マリン事業協会茨城支部主催により「水の郷さわら」にて初の試みとなるさわらマリンフェスタが開催されました。

水の郷として有名なここ水の郷さわらには、ボート等がおおせろスロープが完備されており、夏になると多くのボートやジェットスキーオーナーの人気のスポットでもあります。当日も道の駅で販売されている産直取れたて野菜や、広場で開催されていたフリーマーケット目当てのお客様で賑わいを見せておりました。

この人気スポットでの開催とあって、生憎の天候ではありましたが130名もの方々が新型のボート、ジェットスキーの試乗を求めて来場頂きました。

試乗は小型ボートとジェットスキー、それから免許が不要なミニ

ボートが準備され、30分間隔の予約制で実施した為、待ち時間には道の駅やフリーマーケットで買い物を楽しむ事が出来、来場頂いたお客様を退屈させません。

特に免許不要のミニボートには当社の人気モデルMFS2B-Sを搭載し、来場者をお出迎え。初めて操船する方にボートの楽しさを堪能頂く事が出来ました。

目玉として今人気急上昇中のマリンスポーツ、「フライボード」体験やデモンストレーションも同時開催され、終始盛り上がったマリンフェスタとなりました。
(マリン営業部/木村)



地域住民による 可搬ポンプを用いた放水訓練

去る5月31日(日)、都心では最高気温32度2分を記録し5月では統計開始以降最も高い気温となりました。実験が行われた栃木県栃木市も例外ではなく夏ではないかと感じるほどの暑さでした。

今回の放水訓練は「伝統的建造物群保存地区における総合防災事業の開発」プロジェクトの早稲田大学長谷見研究室様主導のもと実施されました。

実験場所近くの栃木市嘉衛門地区は重要伝統建造物群保存地区に選定されている歴史的市街地であり、伝統的建造物、巴波川、水路等が景観を形成しています。しかし、その性質上、木造家屋の多さなど防災的な弱点が指摘されています。そこで、地域住民による初期消火戦略についての調査研究と、地域の皆様の防災活動の活性化を目的に可搬消防ポンプ(V10G)を使用した放水訓練が行われました。

対象者は地域にお住いの高齢者の方で初めてポンプを扱う方がほとんどでした。最初に説明を聞いただけで活用することができていました。回を重ねるごとに上手くなっていき、その上達スピードの速さに感心致しました。

訓練を終え改めて可搬消防ポンプが地域の安全を守っていく重要なツールであることを感じました。
(車両課/白澤)



平成27年度 トータツポンプ中央会サービス研修会

弊社主催による「平成27年度 トータツポンプ中央会サービス研修会」が去る6月26日(金)に温井自動車工業(株)にて開催され、中央ブロック9社の販売店より計20名の方々が参加して行われました。

研修は、VCの「トラブルシュート」及びVFの「バルブクリアランスの調整方法」、「タイミングベルトの交換方法」の内容で行われました。VCの「トラブルシュート」では、皆さんで意見を出し合い、協力しながら楽しく取り組んでいたのが印象的でした。VFの「バルブクリアランスの調整方法」、「タイミングベルトの交換方法」では、多少戸惑うところも見受けられましたが、皆さん積極的に工具を手にし、真剣に取り組まれておられました。

1日間という短い時間でしたが中身の濃い充実した研修会を無事に終えることができました。今後は、今回開催した研修会の内容を見直し、より内容の濃いものへと変化させていきたいと思っておりますので、ぜひ次回の研修会もご参加いただけたら幸いです。

研修会開催にあたり会場をお貸し頂きました温井自動車工業(株)様、誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。

また、この度、ご参加いただいたトータツポンプ中央会の皆様、大変お疲れ様でした。

(サービス/
河村)



朝日町消防団様 駒ヶ根工場をご見学

初夏の暑さを感じさせる6月29日(月)、富山県朝日町消防団様が駒ヶ根工場の工場見学をされました。

最初の事務棟におけるビデオの製品紹介では普段見慣れないポンプの紹介もあり、非常に興味を持たれていたようでした。

また、工場見学ではポンプ運転検査場や組立の実作業を見学し、輸出モデルの完成品を見ながら国内モデルの違いをご紹介させて頂きました。

朝日町消防団様の益々のご活躍を祈念致しまして筆を置きたいと思っております。皆様お疲れ様でした。

(防災中部/高橋)



駒ヶ根操法大会

駒ヶ根市消防ポンプ操法大会と特科技術競技大会が、去る6月14日(日)、トータツ駒ヶ根工場の駐車場に開催されました。晴天に恵まれたこの日、参加した消防団員は日ごろの訓練成果を出し切る絶好の機会とあって全員大張りぎり。熱のこもった大会となりました。

結果は第5分団第4号がVC72PRO IIを使用し優勝致しました。

(防災中央/後藤)



世界最大の
防災展

「インターシュッツ2015」がドイツで開催

5年に一度の世界最大の防災展、インターシュッツ2015がドイツ・ハノーバーで開催されました。

出展者数は1,500社、来場者は過去最高の計157,000人（6日間）に上り、昨今の社会情勢を背景とし、防災事業に対する関心高さを再認識する機会となりました。

当社ブースにおいては、ヨーロッパ向けフラッグシ

ップモデルであるVE1500を中心に、信頼・実績のあるVC72/82並びに環境対応型モデルのVF21/53を展示し、当社製品のストロングポイントである、“高性能”、“軽量”、“コンパクト”をアピールしました。

有力な商談案件も多数あり、今後の海外での更なる飛躍に向け大変期待出来る展示会となりました。

（防災海外／田村）



ドラマ

「HEAT」撮影協力

7月7日（火）21：00（通常は22：00）よりフジテレビ系列にてEXILEのAKIRA主演によるドラマ「HEAT」が放送されています。このドラマは消防団が舞台となっており総務省消防庁と東京消防庁全面協力のもと行われており、減少傾向にある消防団の団員確保の狙いもあるそうです。

それに伴い、トーハツ所有のデッキバンとVF53ASを撮影用に販売いたしました。

納入するにあたり、5月17日（日）にロケ地に赴き取扱説明を行いました。その際出演者の方やドラマ関係者の方は、おそらく初めてご覧になる車両とポンプを前に興味深げに「すごい。」などと声を漏らしていました。

取扱説明等の際にご尽力いただいた東京物産（株）様には厚く御礼申し上げます。

（車両課／白澤）



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 牧 邦治／青山 滋